

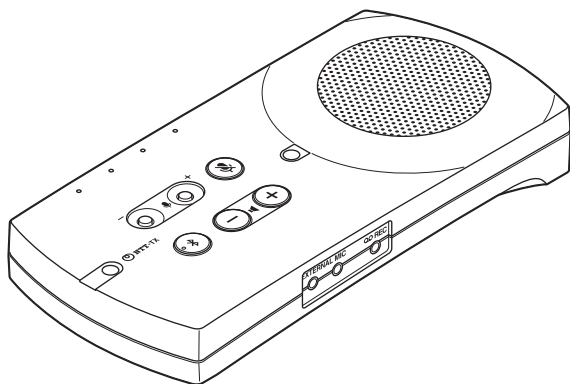
会議用マイク・スピーカー

**R-Talk 950**

**R-Talk 900**

## 取扱説明書

第3版 2022年3月1日



NTTテクノクロス株式会社

技術基準適合認証品

# 目次

安全にお使いいただくために	4
セットの確認	9
R-Talk 950セットの確認	9
R-Talk 900セットの確認	9
オプション品	10
本商品の特長	11
各部の名称および操作方法	13
ランプ表示	14
・状態ランプ	14
・Bluetoothランプ(R-Talk 950のみ)	14
パソコンとUSB接続して使用する	15
パソコンの設定を確認する(Windows 11)	16
・設定の確認	16
・マイク音量とスピーカー音量を調整する	17
パソコンの設定を確認する(Windows 10)	18
・設定の確認	18
・マイク音量とスピーカー音量を調整する	19
パソコンの設定を確認する(Windows 8.1)	20
・設定の確認	20
・マイク音量とスピーカー音量を調整する	21
パソコンの設定を確認する(Mac OS)	22
・設定の確認	22
・マイク音量とスピーカー音量を調整する	23
携帯電話(スマートフォン等含む)とケーブルで接続して使用する	24
スマートフォン／タブレット等のBluetooth機器と接続して使用する (R-Talk 950のみ)	25
Bluetooth機器とペアリング(登録)操作をする	25
Bluetooth機器と接続する／切断する	26
・接続する	26
・切断する	26
電話機と接続して使用する(R-Talk 950のみ)	27

音量の調整機能	28
・スピーカー音量を調整する	28
・マイク音量を調整する	28
・マイクをミュートする	28
拡張マイクを接続して使う	29
・拡張マイクの接続	29
・拡張マイクの集音範囲	29
通話を録音する	30
・録音装置を接続する	30
ブリッジ接続機能 (R-Talk 950のみ)	31
本体設定を調整する	32
・動作パラメータを調整する	32
・ハンドセットのピン配置を切り替える (R-Talk 950のみ)	34
お買い求め時の設定に戻す (初期化)	35
R-Talk 950の仕様	36
R-Talk 900の仕様	37

本書は、R-Talk 950とR-Talk 900 共通の取扱説明書です。  
 本書の操作手順説明のイラストは、R-Talk 950を例に記載しています。

©2022 NTT TechnoCross Corporation. All Rights Reserved.

R-Talkは、NTTテクノクロス株式会社の商標です。







本取扱説明書の記載内容についての著作権は、NTTテクノクロス株式会社に帰属します。許可なく複製・改変・転用することはできません。

## 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書は、<https://www.ntt-tx.co.jp/products/r-talk/>よりダウンロードしてください。

### 本書中のマーク説明

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 <b>お願い</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 <b>お知らせ</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 <b>ワンポイント</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

### ご使用にあたってのお願い

#### 注意

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めになった販売店へお申しつけください。
- 本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので、詳細は本商品にてご確認ください。また、機能向上のため画面は予告なしに変更される場合があります。

Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 10、Microsoft® Windows® 11は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Mac OS® X 10.8、Mac OS® X 10.9、Mac OS® X 10.10、Mac OS® X 10.11、Mac OS® X 10.12は、Apple Inc. の登録商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。なお、本文中に™、®マークは明記しておりません。Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

## 設置について

### 警告

- 本商品や電源アダプタのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
  - ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所。
  - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
  - ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所。
  - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
  - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- 本商品は、次のような場所で設置・使用しないでください。
  - ・ 医療電気機器に近い場所。
  - ・ 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器に近い場所。
  - ・ 心臓ペースメーカーの装着部位から約30 cm以内の位置。

## お取り扱いについて

### 警告

- 電源アダプタは、日本国内用AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品はUSB給電で動作します。  
R-Talk 950用電源アダプタが5V/500mA以上の出力がある電源アダプタ、または、パソコンのUSBポートに接続してご使用ください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関してはお買い求めになった販売店にご相談ください。
- 万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜き、煙が出なくなるのを確認し、お買い求めになった販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、本体を破損した場合、または、本商品内部や電源アダプタに異物や水などがいった場合は、すぐに電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜き、お買い求めになった販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理はお買い求めになった販売店にご依頼ください(分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります)。
- USBケーブルが傷んだ状態(芯線の露出、断線など)のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐにUSBケーブルをUSBポートから抜いて、お買い求めになった販売店に修理をご依頼ください。
- 本商品や電源アダプタに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源アダプタの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品をお手入れするときは、電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

- 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の開口部などから内部に金属類や燃えやすい物などの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜き、お買い求めになった販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を移動するときは、電源アダプタやUSBケーブルを抜いたことを確認してから行ってください。電源アダプタやUSBケーブルが差し込まれたまま移動すると、電源アダプタやUSBケーブルなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。
- 本商品や電源アダプタ、USBケーブルを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

## 設置について

### 注意

- 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 屋外に渡る配線は行わないでください。特に建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

## お取り扱いについて

### 注意

- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから外してください。
- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。
- 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 本商品のUSBケーブル、ハンドセットコード、携帯電話ケーブルを抜き差しするときは、耳をスピーカーから離してください。スピーカーからの大音量により人的傷害が発生する可能性があります。
- 通話中にUSBケーブルやハンドセットコード、携帯電話ケーブル、拡張マイクのケーブルを抜き差ししないでください。本商品や通話相手のスピーカーからの大音量により人的傷害が発生する可能性があります。

## 設置について

### STOP お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)。
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所(温泉地)や、塩分の多いところ(海岸)などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
- 雷などにより本商品が破損することを防止するために、市販の雷サージ対応製品を接続してご使用ください。

## お取り扱いについて

### STOP お願い

- USB ケーブルを再度接続する場合は、USB ケーブルを抜いた状態から5秒以上経ったあとに行ってください。
- 本商品はUSB 給電で動作します。USB ハブを使用したり、パソコンが省電力モードとなっていることで、電源供給が足りず、本商品の電源が切れてしまう場合があります。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- ハンズフリー通話のとき、以下の点に注意してください。
  - ・マイクの前には、物などを置かない。
  - ・マイクを手等で覆わないでください。「ピー」と鳴ることがあります。
  - ・以下のような場合、スピーカーからの音が途切れることがあります。
    - ・相手のお話が終わらないうちに、こちらから話しかけたとき。
    - ・相手と同時に話し始めたとき。
    - ・周囲の騒音が大きい場所に置いたとき。
- R-Talk 950は、デジタル信号を利用した通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。

## 電波干渉について

R-Talk 950の無線方式には、2.4 GHz(ギガヘルツ)の周波数帯の電波を利用する、Bluetoothを用いています。この周波数帯の電波はいろいろな機器(電子レンジ、無線LAN など)が使用していますので、電波の干渉により、お話し中に音声途切れたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。R-Talk 950は電波干渉の影響を受けにくい方式としていますが、下記の内容に注意してください。

- 電子レンジなどを使用中に、近くでR-Talk 950を使用すると、音声途切れたり、ええなくなる場合があります。R-Talk 950は電子レンジなどから離して設置してください。(目安：約3 m以上)
- ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から3 m以上離してください。雑音や映像の乱れの原因になります。
- 無線LAN 機器(ルータ、AV 機器、防犯機器など)を使用している環境でR-Talk 950を使用すると、音声途切れたり、接続が切断されたり、無線LAN 機器の動作に影響を与えることがあります。R-Talk 950を、無線LAN 機器からなるべく離してご使用ください。


●その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作にも影響を与えることがあります。できるだけ、設置場所や使用場所を離してください。

- ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・工場や倉庫などの物流管理システム
- ・万引き防止システム(書店やCDショップなど)
- ・鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ・ワイヤレスAV機器(テレビ、ビデオ、パソコンなど)
- ・火災報知器
- ・マイクロ波治療器
- ・自動ドア、自動制御機器
- ・アマチュア無線局
- ・その他、Bluetooth対応機器やVICS(道路交通網システム)など

●R-Talk 950は、2.400 ~ 2.4835 GHzの帯域を使用する無線設備を内蔵しています。移動体識別装置の帯域を回避不可で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は10 mです。

R-Talk 950には、それを示す右のマークが貼り付けられています。



※Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、使用許諾契約の下で当社にライセンスされています。 

## 電波に関するご注意

R-Talk 950の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- R-Talk 950を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
- 万一、R-Talk 950から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにBluetoothでの接続を中止したうえ、お買い求めになった販売店へご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- その他、R-Talk 950から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合には、お買い求めになった販売店へご連絡ください。

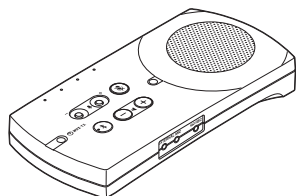


## セットの確認

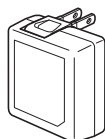
### R-Talk 950セットの確認

ご使用前に、セット内容をご確認ください。

●本体…………… 1台



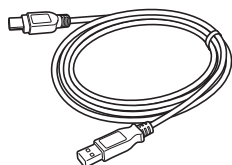
●R-Talk 950用  
電源アダプタRT900-  
OPT-AC1 …… 1個



●ハンドセットコード  
(約3 m) …… 1本



●USBケーブル  
(約3 m) …… 1本  
<コネクタ形状:USB(A)オス-  
USB(Micro-B)オス>



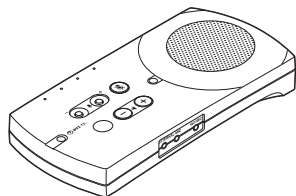
●かんたん操作ガイド… 1部  
●保証書…………… 1枚

セットに足りないものがあったり、かんたん操作ガイド、保証書に乱丁・落丁があった場合は、お買い求めになった販売店へご連絡ください。

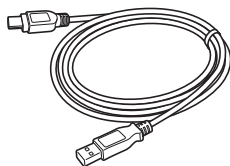
### R-Talk 900セットの確認

ご使用前に、セット内容をご確認ください。

●本体…………… 1台



●USBケーブル  
(約3 m) …… 1本  
<コネクタ形状:USB(A)オス-  
USB(Micro-B)オス>



●かんたん操作ガイド… 1部  
●保証書…………… 1枚

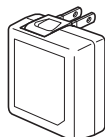
セットに足りないものがあったり、かんたん操作ガイド、保証書に乱丁・落丁があった場合は、お買い求めになった販売店へご連絡ください。

## オプション品

オプション品については、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

### ●R-Talk 950用電源アダプタ RT900-OPT-AC1

R-Talk 900/950用です。  
R-Talk 950 ではセットに含まれます。



### ●R-Talk 用拡張マイク RT-OPT-MIC1

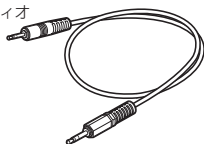
本商品には、拡張マイクを2個まで接続できます。



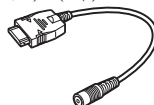
### ●R-Talk 用携帯電話ケーブルセット RT-OPT-CBL1

携帯電話ケーブルは、ケーブル5本がセットになっています。ご利用のスマートフォンや携帯電話に合わせてお使いください。

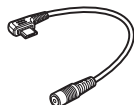
3.5 mm プラグ⇔2.5 mm  
プラグステレオオーディオ  
ケーブル  
(約1 m) (1本)



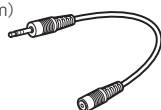
2.5 mmジャック⇔  
docomo/SoftBank  
外部接続端子ケーブル  
(約10 cm) (1本)



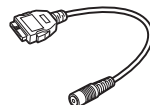
2.5 mm ジャック⇔携帯電話  
イヤホンマイク接続端子ケーブル  
(約10 cm) (1本)



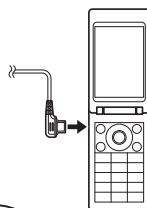
2.5 mmジャック⇔3.5 mm  
4極プラグ (スマートフォン用)  
ケーブル  
(約10 cm)  
(1本)



2.5 mmジャック⇔  
au外部接続端子  
ケーブル  
(約10 cm)  
(1本)



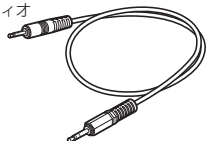
<接続例>



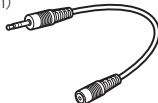
### ●R-Talk 用スマートフォン接続ケーブル RT-OPT-CBL2

スマートフォン接続ケーブルは、ケーブル2本がセットになっています。  
ご利用のスマートフォンに合わせてお使いください。

3.5 mm プラグ⇔2.5 mm  
プラグステレオオーディオ  
ケーブル  
(約1 m) (1本)



2.5 mmジャック⇔3.5 mm  
4極プラグ (スマートフォン用)  
ケーブル  
(約10 cm)  
(1本)



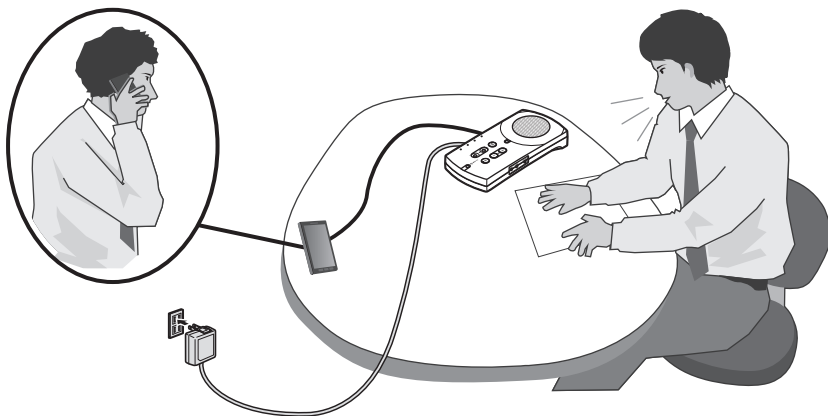
## 本商品の特長

本商品は、パソコンやスマートフォン、タブレット、携帯電話、電話機など、さまざまな通信機器と接続してハンズフリー通話を行う装置です。

### ●パソコンやスマートフォン、タブレット、携帯電話、電話機によるハンズフリー通話

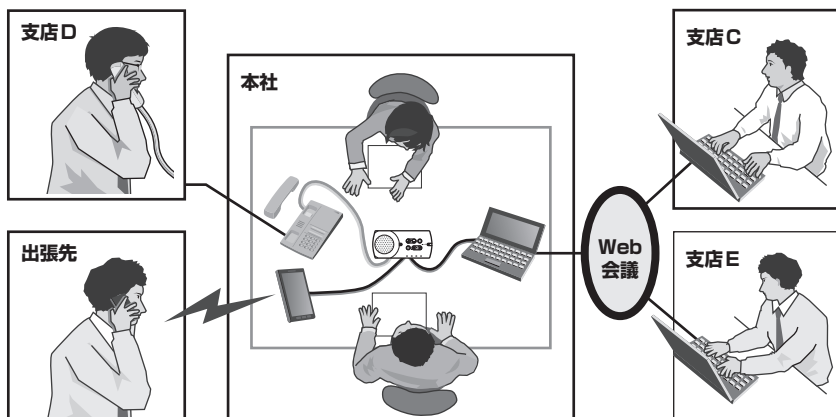
- ・パソコンを利用したWeb会議システムのマイク・スピーカーとして使用できます。パソコンとはUSBケーブルでつなぐだけで使用できます。デバイスのドライバソフトウェアのインストールは必要ありません。(☛P15)
- ・電話回線がない場所では、スマートフォンや携帯電話と接続して電話会議を行えます。(☛P24)
- ・電話機とはハンドセットコードで接続します。電話回線の種類にかかわらず使用できます。(☛P27)

※ 電話機との接続はR-Talk 950のみの機能になります。



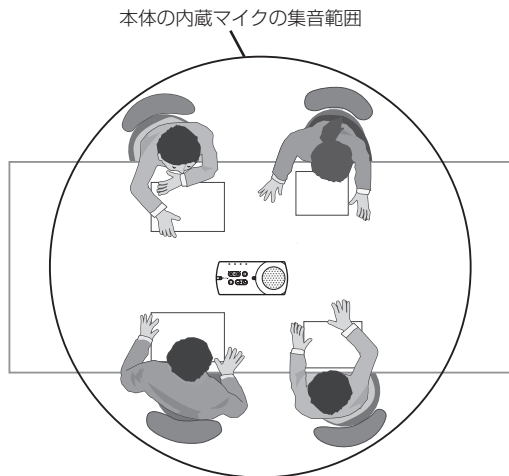
### ●パソコン接続、スマートフォン接続、タブレット接続、携帯電話接続、電話機接続の同時利用 (R-Talk 950のみ)

パソコンやスマートフォン、タブレット、携帯電話、電話機を接続して、電話会議とWeb会議を混在させた会議ができます。(R-Talk 950のみ)(☛P31)



## ●集音範囲

本体の内蔵マイクの集音範囲は約2 mです。

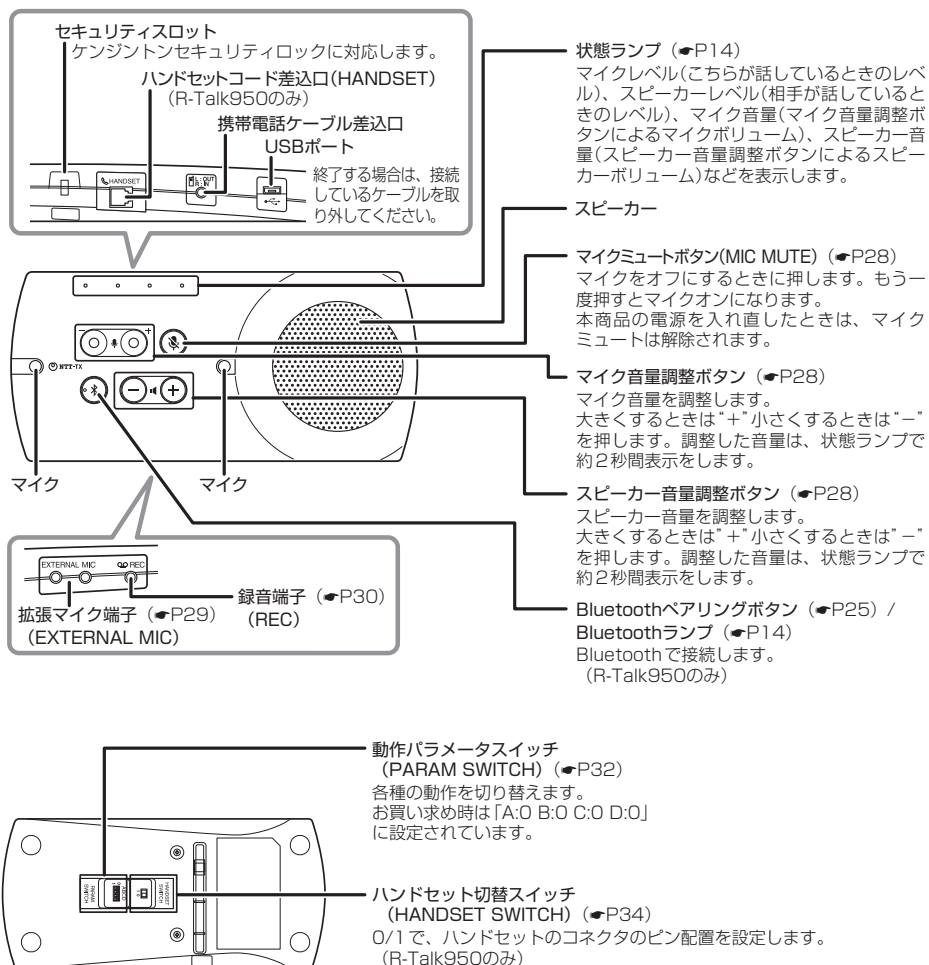


## 🔊お知らせ

- 本商品には音質を改善する機能はありません。スピーカーからの音質は、ご使用になる回線の品質やパソコンの通信アプリケーション、通信機器に依存します。
- 本商品には通信機能はありません。Web会議システムやテレビ電話装置でご使用になるには、通信アプリケーションがインストールされたパソコンまたは通信機器に接続する必要があります。
- ソフトウェアエコーキャンセラまたは自動音量制御(AGC)機能が搭載されているWeb会議アプリケーションやVoIPソフトをお使いの場合は、本商品のエコーキャンセラが正常に動作しないことがあります。Web会議アプリケーションやVoIPソフトは、これらの機能をOFFに設定できるものをご利用のうえ、設定をOFFにしてお使いください。

## 各部の名称および操作方法

以下の説明はR-Talk 950です。R-Talk 900には、ハンドセットコード差込口、Bluetoothペアリングボタン/Bluetoothランプはありません。



### ワンポイント

#### ●スピーカー音量とマイク音量を調整するときは

スピーカー音量調整ボタン、マイク音量調整ボタンの“+”または“-”を押し下することで、12段階(0(小)~11(大))に調整することができます。

お買い求め時は「5」に設定されています。


本商品の電源を切ってもスピーカー音量とマイク音量の調整値は保持されます。

# ランプ表示

## ■ 状態ランプ

状態	ランプのつきかた(色)
電源を入れたとき	● ● ● ● 点灯(紫、紫、紫、紫(長い)) ↓
	○ ○ ○ ○ 消灯
	● ● ● ● 点灯(紫、紫、紫、紫(短い)) ↓
	○ ○ ○ ○ 消灯
	● ● ● ● 点灯(紫、紫、紫、紫(短い)) ↓
	○ ○ ○ ○ 消灯
初期化時	● ● ● ● 点灯(紫、紫、紫、紫(長い)) ↓
	○ ○ ○ ○ 消灯
	○ ○ ○ ○ 点灯(青、青、青、青(短い)) ↓
	○ ○ ○ ○ 消灯
	○ ○ ○ ○ 点灯(青、青、青、青(短い)) ↓
	○ ○ ○ ○ 消灯
待機時	○ ○ ○ ○ 点灯(青)
スピーカー音量またはマイク音量を調整しているとき 0(小)~11(大)	ランプつが3段階を表示し、12段階に調整できます。
	小 ○ ○ ○ ○ 点灯(青) ↓
	○ ○ ○ ○ 点灯(紫) ↓
	● ○ ○ ○ 点灯(赤) ↓
	● ● ○ ○ 点灯(赤、青) ↓
	● ● ● ○ 点灯(赤、紫) ↓
	● ● ● ○ 点灯(赤、赤) ↓
	● ● ● ○ 点灯(赤、赤、青) ↓
	● ● ● ○ 点灯(赤、赤、紫) ↓
	● ● ● ○ 点灯(赤、赤、赤) ↓
	● ● ● ○ 点灯(赤、赤、赤、青) ↓
	● ● ● ○ 点灯(赤、赤、赤、紫) ↓
	● ● ● ○ 点灯(赤、赤、赤、赤) ↓
	● ● ● ○ 点灯(赤、赤、赤、赤、青) ↓
	● ● ● ○ 点灯(赤、赤、赤、赤、紫) ↓
大 ● ● ● ● 点灯(赤、赤、赤、赤)	

スピーカー音量、マイク音量ともに0(小)の場合は音量はオフとなります。

状態	ランプのつきかた(色)
マイクミュートのとき	 <p>● ● ● ● 点灯(赤、赤、赤、赤) ↓</p> <p>○ ○ ○ ○ 消灯</p>
こちらが話しているとき(マイクレベル)	<p>左からマイクレベルを表示します。</p> <p>小 ○ ○ ○ ○ 点灯(青) ↓</p> <p>○ ○ ○ ○ 点灯(青、青) ↓</p> <p>○ ○ ○ ○ 点灯(青、青、青) ↓</p> <p>○ ○ ○ ○ 点灯(青、青、青、青) ↓</p> <p>大 ● ● ● ● 点灯(紫、紫、紫、紫) ↓</p> <p>過大 ● ● ● ● 点灯(赤、赤、赤、赤)</p>
	<p>右からスピーカーレベルを表示します。</p> <p>小 ○ ○ ○ ○ 点灯(青) ↓</p> <p>○ ○ ○ ○ 点灯(青、青) ↓</p> <p>○ ○ ○ ○ 点灯(青、青、青) ↓</p> <p>○ ○ ○ ○ 点灯(青、青、青、青) ↓</p> <p>大 ● ● ● ● 点灯(紫、紫、紫、紫) ↓</p> <p>過大 ● ● ● ● 点灯(赤、赤、赤、赤)</p>

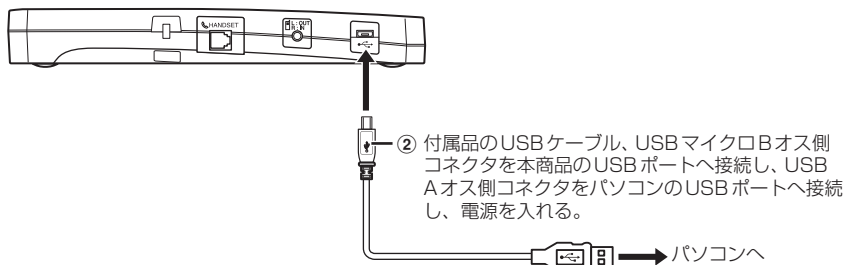
## ■ Bluetoothランプ(R-Talk 950のみ)

状態	ランプのつきかた(色)
接続中	⊙* 点灯(青)
ペアリング中	⊙* ←----→ ⊙* 点滅(青)

## パソコンとUSB接続して使用する

パソコンのUSBポートと接続して、パソコンと本商品の間で音声を入出力します。

- ① 本体背面の動作パラメータスイッチ (D) を確認する。(➡P32、P33)



- ② 付属品のUSBケーブル、USBマイクロBオス側コネクタを本商品のUSBポートへ接続し、USB Aオス側コネクタをパソコンのUSBポートへ接続し、電源を入れる。

- ③ 接続確認をする。

「パソコンの設定を確認する(Windows 11)」(➡P16)  
「パソコンの設定を確認する(Windows 10)」(➡P18)  
「パソコンの設定を確認する(Windows 8.1)」(➡P20)  
「パソコンの設定を確認する(Mac OS)」(➡P22)



### ワンポイント

- 相手からの声が大きすぎる、または小さすぎるときは  
適正な音量となるよう、パソコンのスピーカー音量を調整してください。  
パソコンで調整できないときは、本商品のスピーカー音量調整ボタンでスピーカー音量を調整してください。(➡P28)  
相手からの声の大きさは状態ランプで確認できます。(➡P14)
- 相手側から声が大きすぎる、または小さすぎると言われるときは  
適正な音量となるよう、相手のスピーカー音量を調節するか、本商品のマイク音量調整ボタンでマイク音量を調整してください。(➡P28)  
本商品で調整できないときは、パソコンのマイク入力音量を調整してください。
- ソフトウェアエコーキャンセラまたは自動音量制御 (AGC) 機能が搭載されている Web 会議アプリケーションや VoIP ソフトをお使いの場合は、本商品のエコーキャンセラが正常に動作しないことがあります。Web 会議アプリケーションや VoIP ソフトは、これらの機能を OFF に設定できるものをご利用のうえ、設定を OFF にしてお使いください。

STOP

### お願い

- 本商品は USB 給電で動作します。USB ハブを使用したり、パソコンが省電力モードとなっていることで、電源供給が足りず、本商品の電源が切れてしまう場合があります。
- USB ケーブルはパソコン本体の USB ポートに接続してください。USB ハブを使用すると、正常に動作しない場合があります。



### お知らせ

- パソコンの Web 会議アプリケーションや VoIP ソフトの操作については、使用するソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
- 本商品は USB 給電で動作します。
- 終了する場合は、通信を終了し、USB ケーブルを取り外してください。

## パソコンの設定を確認する(Windows 11)

以下の手順に従って、パソコンの設定を確認してください。ここでは、Windows 11の通常の画面イメージで説明しています。お使いのパソコンによっては、表示が異なる場合があります。

### ■ 設定の確認

**1** 「スタート」をクリックし、「すべてのアプリ」をクリック、メニューを下にスクロールして[Windows ツール]をクリックし、[コントロールパネル]をダブルクリックする。

**2** [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

**3** [オーディオデバイスの管理]をクリックする。

**4** [サウンド]の[再生]画面を確認する。  
[R-Talk 900]あるいは[R-Talk 950]が選択されていることを確認する。  
[スピーカー USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。



**5** [サウンド]の[録音]画面を確認する。

- ① [録音]タブをクリックする。
- ② [R-Talk 900]あるいは[R-Talk 950]が選択されていることを確認する。  
[マイク USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。



### 🔊 お知らせ

● 本商品を接続した際、Windows 11の設定によってはハウリングが発生し、スピーカーから大音量が流れる場合があります。

その場合には、次の操作を行ってください。

1. 「スタート」をクリックし、「すべてのアプリ」をクリック、メニューを下にスクロールして[Windows ツール]をクリックし、[コントロールパネル]をダブルクリックする
2. [ハードウェアとサウンド]をクリックする
3. [オーディオデバイスの管理]をクリックする
4. [サウンド]の[録音]タブをクリックする
5. [マイク]の項目を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする
6. [マイク]の[プロパティ]画面で、[聴く]タブをクリックし、[このデバイスを聴く]のチェックを外す
7. [OK]をクリックする







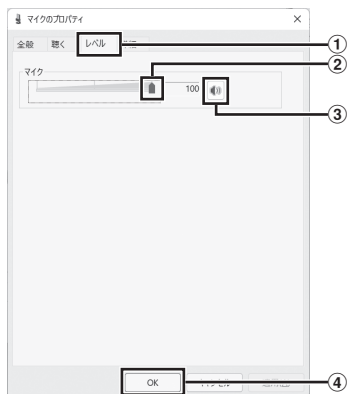
## ■マイク音量とスピーカー音量を調整する

- 6 [R-Talk 900]あるいは[R-Talk 950]をクリックし、[プロパティ]をクリックする。



- 7 マイク音量を調整する。





- ① [レベル]タブをクリックする。
- ② [マイク]の音量を最大に調整する。  
マイク音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。
- ③ [マイク]アイコンが  になっていることを確認する。  
 になっている場合は、 をクリックして  にしてください。
- ④ [OK]をクリックして画面を閉じる。

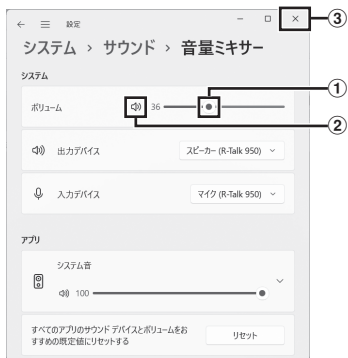


- 8 [サウンド]画面右上の[×]をクリックして画面を閉じる。

- 9 タスクバーの通知領域から「スピーカー」アイコンを右クリックし、表示された一覧から「音量ミキサーを開く」をクリックする。

- 10 スピーカー音量を調整する。

- ① [スピーカー]の音量を最大に調整する。  
スピーカー音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。
- ② [スピーカー]アイコンが  になっていることを確認する。  
 になっている場合は、 をクリックして  にしてください。
- ③ 右上の[×]をクリックして画面を閉じる。



設定の確認はこれで終了です。

## お知らせ

- 初めてご使用される場合、マイク音量とスピーカー音量はご利用になるパソコンにより異なりますので、適度な音量となるよう音量調節をしてください。次回ご使用時は、前回設定した値となります。

## パソコンの設定を確認する(Windows 10)

以下の手順に従って、パソコンの設定を確認してください。ここでは、Windows 10の通常の画面イメージで説明しています。お使いのパソコンによっては、表示が異なる場合があります。

### ■ 設定の確認

**1** 「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧の[W]欄から「Windows システムツール」をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする。

**2** [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

**3** [オーディオデバイスの管理]をクリックする。

**4** [サウンド]の[再生]画面を確認する。  
[R-Talk 900]あるいは[R-Talk 950]が選択されていることを確認する。  
[スピーカー USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。



**5** [サウンド]の[録音]画面を確認する。

- ① [録音]タブをクリックする。
- ② [R-Talk 900]あるいは[R-Talk 950]が選択されていることを確認する。  
[マイク USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。



### お知らせ

● 本商品を接続した際、Windows 10の設定によってはハウリングが発生し、スピーカーから大音量が流れる場合があります。

その場合には、次の操作を行ってください。





1. 「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧の[W]欄から「Windowsシステムツール」をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする
2. [ハードウェアとサウンド]をクリックする
3. [オーディオデバイスの管理]をクリックする
4. [サウンド]の[録音]タブをクリックする
5. [マイク]の項目を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする
6. [マイク]の[プロパティ]画面で、[聴く]タブをクリックし、[このデバイスを聴く]のチェックを外す
7. [OK]をクリックする

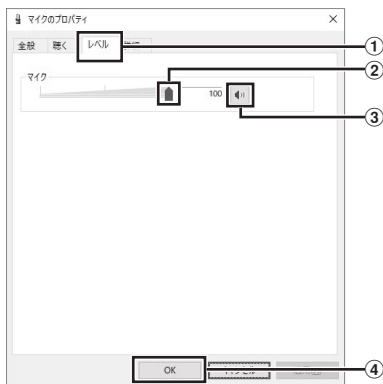
## ■マイク音量とスピーカー音量を調整する

- 6** [R-Talk 900]あるいは[R-Talk 950]をクリックし、[プロパティ]をクリックする。



- 7** マイク音量を調整する。





- ① [レベル]タブをクリックする。
- ② [マイク]の音量を最大に調整する。  
マイク音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。
- ③ [マイク]アイコンが  になっていることを確認する。  
 になっている場合は、 をクリックして  にしてください。
- ④ [OK]をクリックして画面を閉じる。

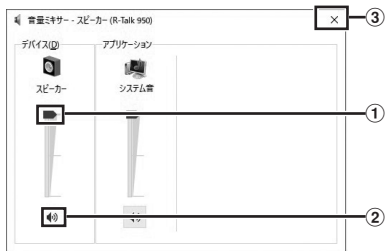


- 8** [サウンド]画面右上の[×]をクリックして画面を閉じる。

- 9** タスクバーの通知領域から「スピーカー」アイコンを右クリックし、表示された一覧から「音量ミキサーを開く」をクリックする。

- 10** スピーカー音量を調整する。

- ① [スピーカー]の音量を最大に調整する。  
スピーカー音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。
- ② [スピーカー]アイコンが  になっていることを確認する。  
 になっている場合は、 をクリックして  にしてください。
- ③ 右上の[×]をクリックして画面を閉じる。



設定の確認はこれで終了です。

## お知らせ

- 初めてご使用される場合、マイク音量とスピーカー音量はご利用になるパソコンにより異なりますので、適度な音量となるよう音量調節をしてください。次回ご使用時は、前回設定した値となります。

## パソコンの設定を確認する(Windows 8.1)

以下の手順に従って、パソコンの設定を確認してください。ここでは、Windows 8.1の通常の画面イメージで説明しています。お使いのパソコンによっては、表示が異なる場合があります。

### ■ 設定の確認

**1** [Windowsロゴ]を右クリックし、[コントロールパネル]をクリックする。

**2** [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

**3** [オーディオデバイスの管理]をクリックする。

**4** [サウンド]の[再生]画面を確認する。  
[R-Talk 900]あるいは[R-Talk 950]が選択されていることを確認する。  
[スピーカー USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。



**5** [サウンド]の[録音]画面を確認する。

- ① [録音]タブをクリックする。
- ② [R-Talk 900]あるいは[R-Talk 950]が選択されていることを確認する。  
[マイク USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。



### お知らせ

● 本商品を接続した際、Windows 8.1の設定によってはハウリングが発生し、スピーカーから大音量が流れる場合があります。

その場合には、次の操作を行ってください。

1. [Windowsロゴ]を右クリックし、[コントロールパネル]をクリックする
2. [ハードウェアとサウンド]をクリックする
3. [オーディオデバイスの管理]をクリックする
4. [サウンド]の[録音]タブをクリックする
5. [マイク]の項目を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする
6. [マイク]の[プロパティ]画面で、[聴く]タブをクリックし、[このデバイスを聴く]のチェックを外す
7. [OK]をクリックする

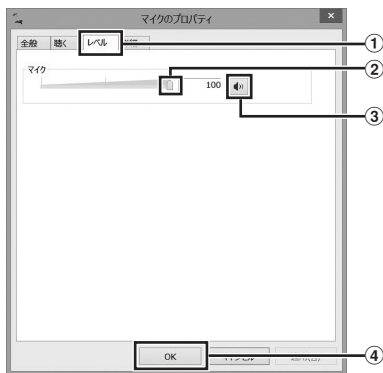
## ■マイク音量とスピーカー音量を調整する

- 6** [R-Talk 900]あるいは[R-Talk 950]をクリックし、[プロパティ]をクリックする。



- 7** マイク音量を調整する。

- ① [レベル]タブをクリックする。
- ② [マイク]の音量を最大に調整する。マイク音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。
- ③ [マイク]アイコンが になっていることを確認する。  
 になっている場合は、 をクリックして にしてください。
- ④ [OK]をクリックして画面を閉じる。

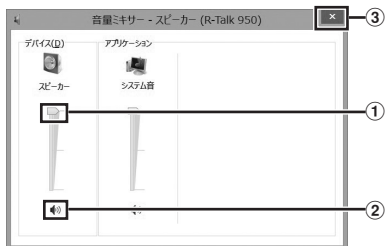


- 8** [サウンド]画面右上の[×]をクリックして画面を閉じる。

- 9** [ハードウェアとサウンド]画面の[システム音量の調整]をクリックする。

- 10** スピーカー音量を調整する。

- ① [スピーカー]の音量を最大に調整する。スピーカー音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。
- ② [スピーカー]アイコンが になっていることを確認する。  
 になっている場合は、 をクリックして にしてください。
- ③ 右上の[×]をクリックして画面を閉じる。



- 11** [ハードウェアとサウンド]画面右上の[×]をクリックして画面を閉じる。

設定の確認はこれで終了です。

## お知らせ

- 初めてご使用される場合、マイク音量とスピーカー音量はご利用になるパソコンにより異なりますので、適度な音量となるよう音量調節をしてください。次回ご使用時は、前回設定した値となります。

## パソコンの設定を確認する (Mac OS)

以下の手順に従って、パソコンの設定を確認してください。ここでは、Mac OSの通常の画面イメージで説明しています。お使いのパソコンによっては、表示が異なる場合があります。

### ■ 設定の確認

**1** 「Appleメニュー」をクリックし、「システム環境設定」をクリックする。

**2** システム環境設定画面から、「サウンド」アイコンをクリックする。

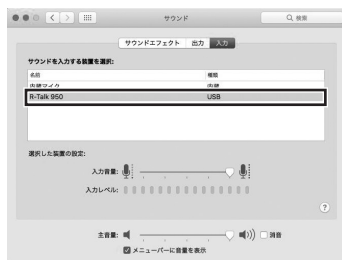
**3** サウンド設定画面の「出力」タブを確認する。

[R-Talk 900]あるいは[R-Talk 950]が選択されていることを確認する。  
[USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。



**4** サウンド設定画面の「入力」タブを確認する。

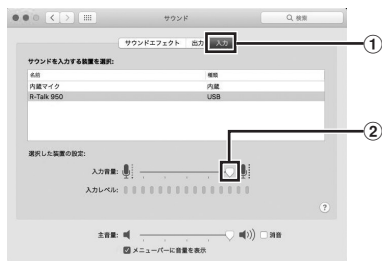
[R-Talk 900]あるいは[R-Talk 950]が選択されていることを確認する。  
[USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。



## ■ マイク音量とスピーカー音量を調整する

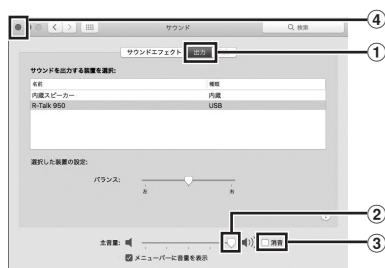
### 5 マイク音量を調整する。

- ① [入力]タブをクリックする。
- ② [入力音量]の音量を最大に調整する。  
マイク音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。



### 6 スピーカー音量を調整する。

- ① [出力]タブをクリックする。
- ② [主音量]の音量を最大に調整する。  
スピーカー音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。
- ③ [消音]のチェックボックスにチェックが外れていることを確認する。[消音]のチェックボックスにチェックがついている場合は、[消音]のチェックボックスのチェックを外してください。
- ④ 左上の[●] (赤)をクリックして画面を閉じる。

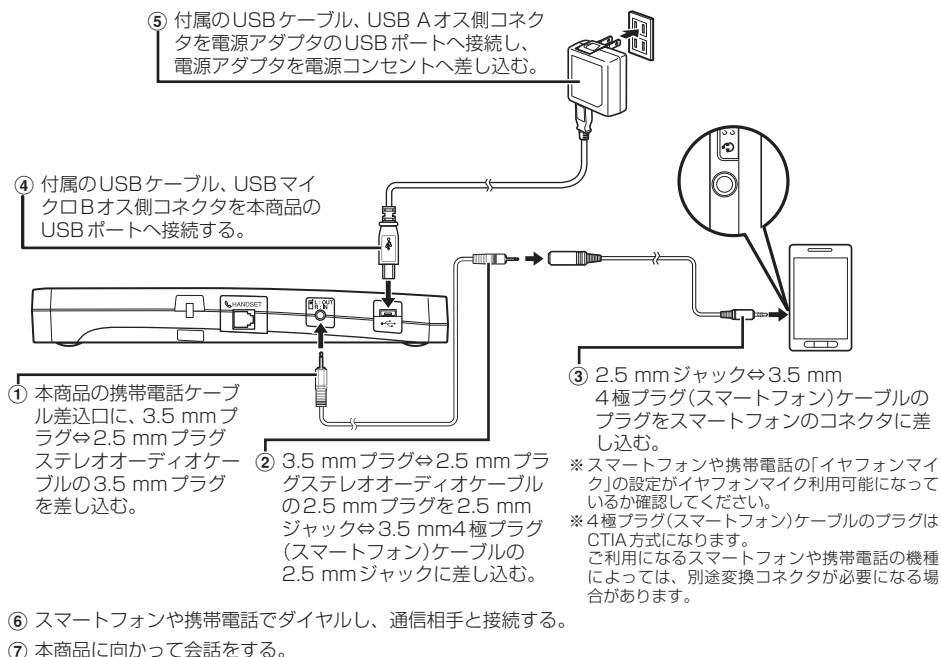


### お知らせ

- 初めてご使用される場合、マイク音量とスピーカー音量はご利用になるパソコンにより異なりますので、適度な音量となるよう音量調節をしてください。次回ご使用時は、前回設定した値となります。

## 携帯電話(スマートフォン等含む)とケーブルで接続して使用する

オプションのR-Talk用携帯電話ケーブルセット(●P10)が必要です。ご利用のスマートフォンや携帯電話に合わせてケーブルの種類を選択してください。



### ワンポイント

- 相手からの声が大きすぎる、または小さすぎるときは  
適正な音量となるよう、スマートフォンや携帯電話の受話音量を調整してください。スマートフォンや携帯電話で調整ができない場合は、本商品のスピーカー音量調整ボタンでスピーカー音量を調整してください。(●P28)
- 相手側から声が大きすぎる、または小さすぎると言われるときは  
適正な音量となるよう、スマートフォンや携帯電話のマイク入力音量を調整してください。スマートフォンや携帯電話で調整できないときは、相手のスピーカー音量を調節するか、本商品のマイク音量調整ボタンでマイク音量を調整してください。(●P28)

### STOP お願い

- スマートフォンや携帯電話は、本商品から1 m以上離してください。スマートフォンや携帯電話と本商品が近いと、雑音が入ることがあります。

### お知らせ

- ご利用になるスマートフォンや携帯電話の機種によっては、別途変換コネクタが必要になる場合があります。
- ご利用になるスマートフォンや携帯電話によっては、エコーが発生することがあります。
- 本商品はUSB給電で動作します。  
R-Talk 950用電源アダプタが5V/500mA以上の出力がある電源アダプタ、または、パソコンのUSBポートに接続してご使用ください。
- 終了する場合は、通信を終了し、⑤→④→③→②→①の順に取り外してください。



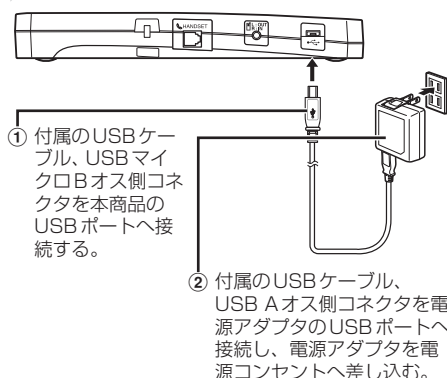
## スマートフォン/タブレット等のBluetooth機器と接続して使用する(R-Talk 950のみ)

本商品は、Bluetoothによりスマートフォン/タブレット等と無線接続して、通信相手とハンズフリーで通話ができます。

### Bluetooth機器とペアリング(登録)操作をする

Bluetoothを使用するためには、接続するスマートフォン/タブレット等とペアリング(登録)操作をする必要があります。接続するスマートフォン/タブレット等の操作については、スマートフォン/タブレット等の取扱説明書をご覧ください。ペアリング(登録)操作は初めに1回行えば良く、次からは接続操作(▶P26)のみで接続できます。

#### 1 本商品の電源を入れる。



#### 2 本商品のBluetoothペアリングボタン(Bluetooth)を長押し(約1秒)する。

Bluetoothランプが点滅に変わったら手順3へ進みます。



#### 3 スマートフォン/タブレット等で、ペアリング操作をする。

本商品のデバイス名は「R-Talk 950」、パスキーはありません。  
ペアリング操作は、本商品の近く(5 m以内)から行ってください。  
また、本商品のペアリング待機時間は約1分間です。

#### 4 ペアリングが完了すると、本商品とスマートフォン/タブレット等がBluetoothで接続され、Bluetoothランプが点灯する(スピーカーから「ピッ、ピッ……(7回)」が聞こえます)。



#### ワンポイント

- ペアリング操作を中止するには Bluetoothペアリングボタンを長押しします。

#### お知らせ

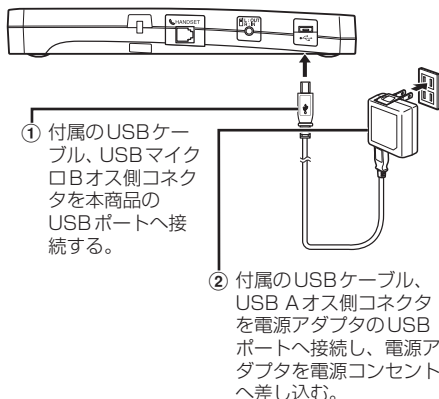
- 本商品とBluetoothで接続できる機器は1台のみです。
- Bluetooth接続中にスマートフォン/タブレット等に電話がかかってきた場合は、本商品のスピーカーから呼出音が聞こえることがあります。
- パスキーは「なし」に設定されています。
- 本商品に接続可能なBluetooth機器のバージョンは、Bluetooth 4.x 以上です。それ以前のバージョンではご使用の機器によっては接続できない場合があります。その場合は、ケーブルで接続して使用してください。(▶P24)
- 接続状態で相手から切断された場合、約10分間はBluetoothペアリングボタン(Bluetooth)を押さなくても相手の機器から再接続が可能です。
- 電波環境によっては、通話にノイズが発生することがあります。
- 本商品はUSB給電で動作します。R-Talk 950用電源アダプタか5V/500mA以上の出力がある電源アダプタ、または、パソコンのUSBポートに接続してご使用ください。

## Bluetooth機器と接続する／切断する

スマートフォン／タブレット等の操作については、スマートフォン／タブレット等の取扱説明書をご覧ください。

### ■ 接続する

#### 1 本商品の電源を入れる。



① 付属のUSBケーブル、USBマイクロBオス側コネクタを本商品のUSBポートへ接続する。

② 付属のUSBケーブル、USB Aオス側コネクタを電源アダプタのUSBポートへ接続し、電源アダプタを電源コンセントへ差し込む。

#### 2 本商品のBluetoothペアリングボタン (Bluetooth)を長押し(約1秒)する。

#### 3 スマートフォン／タブレット等から、Bluetoothで本商品に接続する。

本商品のデバイス名は「R-Talk 950」です。

本商品とスマートフォン／タブレット等がBluetoothで接続されると、Bluetoothランプが点灯します(スピーカーから「ピッ、ピッ、……(7回)」が聞こえます)。



#### ワンポイント

- 初めて利用するBluetooth機器と接続するにはペアリング(登録)が必要です。(●P25)
- ハンズフリーで通話するにはスマートフォン／タブレット等で通信相手と接続し、本商品に向かって会話をします。

#### お知らせ

- ご利用になるスマートフォン／タブレット等の種類によっては、Bluetooth接続機器への切替操作をスマートフォンや携帯電話側にて実施していただく必要があります。

### ■ 切断する

#### 1 スマートフォン／タブレット等から、Bluetoothを切断する。

Bluetoothランプが消灯します。

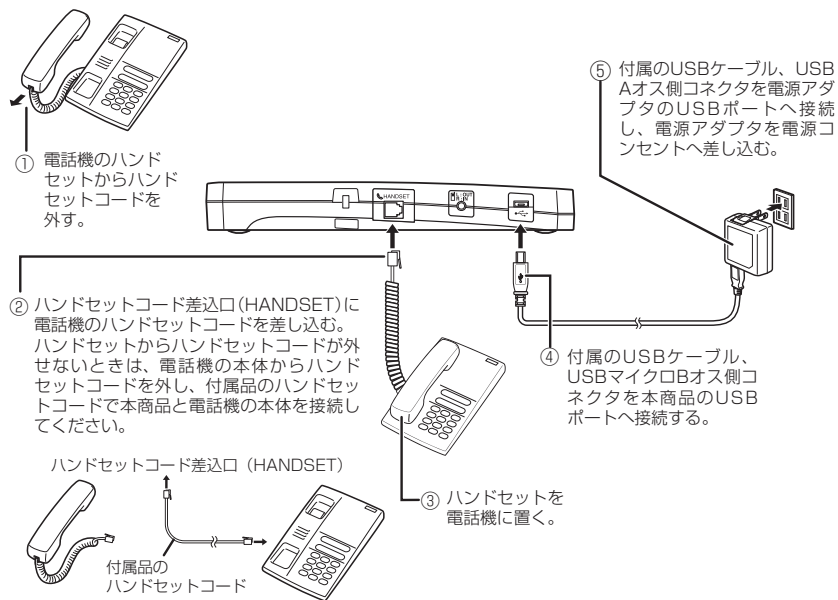
#### ワンポイント

- 相手からの声が大きすぎる、または小さすぎるときは適正な音量となるよう、スマートフォン／タブレット等の受話音量を調整してください。スマートフォン／タブレット等で調整できない場合は、本商品のスピーカー音量調整ボタンでスピーカー音量を調整してください。(●P28) 相手からの声の大きさは状態ランプで確認できます。(●P14)
- 相手側から声が大きすぎる、または小さすぎると言われるときは適正な音量となるよう、スマートフォン／タブレット等のマイク入力音量を調整してください。スマートフォン／タブレット等で調整できないときは、相手のスピーカー音量を調節するか、本商品のマイク音量調整ボタンでマイク音量を調整してください。(●P28)

#### お知らせ

- スマートフォン／タブレット等と本商品のBluetooth接続を切断しても、約10分間以内であればスマートフォン／タブレット等からの接続操作で接続できます。約10分間、接続操作をしないとBluetoothの接続はできなくなります。このようなときは一度本商品の電源を切り、初めから操作をやり直してください。
- スマートフォン／タブレット等は本商品の近く(5 m以内)で使用してください。
- スマートフォン／タブレット等と本商品がBluetoothの到達距離(約5 m)以上離れた場合、音声が届けたりBluetooth接続が切断される場合があります。このようなときはスマートフォンや携帯電話と本商品をできるだけ近づけてご使用ください。または、一度本商品の電源を切り、初めから操作をやり直してください。
- 周囲の環境によっては、スマートフォン／タブレット等と本商品の距離が5 m以内であっても通話が途切れることがあります。このようなときはスマートフォンや携帯電話と本商品をできるだけ近づけてご使用ください。または、一度本商品の電源を切り、初めから操作をやり直してください。
- Bluetooth接続中にスマートフォン／タブレット等に電話がかかってきた場合は、本商品のスピーカーから呼出音が聞こえることがあります。
- 終了する場合は、スマートフォン／タブレット等からBluetoothを切断し、②→①の順に取り外してください。

## 電話機と接続して使用する (R-Talk 950のみ)



- ⑥ 電話機のハンドセットを取りあげてダイヤルし、通信相手と接続する。



- ⑦ 本商品に向かって会話をする。

### ワンポイント

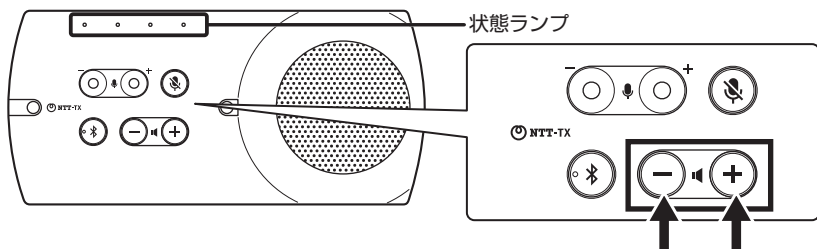
- 相手からの声が大きすぎる、または小さすぎるときは  
適正な音量となるよう、電話機の入話音量を調整してください。電話機で調整ができない場合は、本商品のスピーカー音量調整ボタンでスピーカー音量を調整してください。(●P28)  
相手からの声の大きさは状態ランプで確認できます。(●P14)
- 相手側から声が大きすぎる、または小さすぎると言われるときは  
本商品のマイク音量調整ボタンでマイク音量を調整してください。(●P28)

### お知らせ

- 本商品はUSB給電で動作します。  
R-Talk 950用電源アダプタか5V/500mA以上の出力がある電源アダプタ、または、パソコンのUSBポートに接続してご使用ください。
- 終了する場合は、通信を終了し、⑤→④→③→②→①の順に取り外してください。

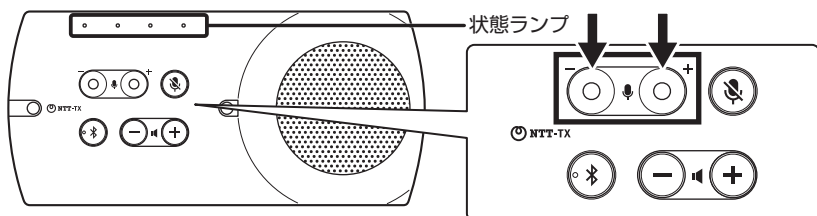
## 音量の調整機能

### ■ スピーカー音量を調整する



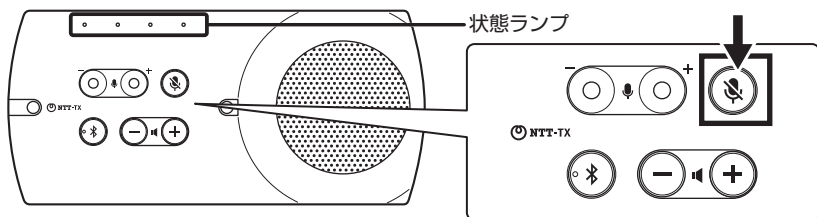
スピーカー音量を調整します。大きくするときは“+”小さくするときは“-”を押します。また、調整した音量は、状態ランプで約2秒間表示をします。

### ■ マイク音量を調整する



マイク音量を調整します。大きくするときは“+”小さくするときは“-”を押します。また、調整した音量は、状態ランプで約2秒間表示をします。

### ■ マイクをミュートする



マイクをオフにするときに押します。もう一度押すとマイクオンになります。本商品の電源を入れ直したときは、マイクオンとなります。また、マイクミュート状態は、状態ランプで表示します。(P14)

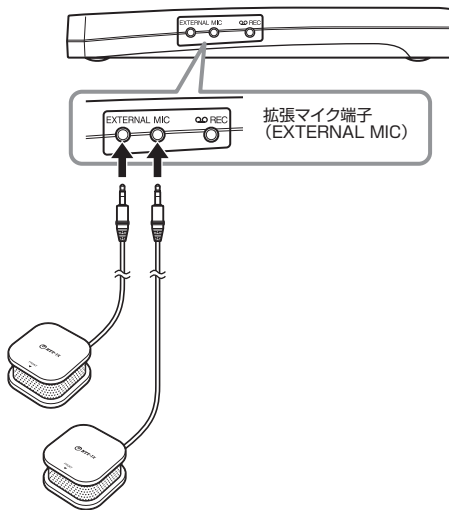
## 拡張マイクを接続して使う

多人数での会議など、本体の内蔵マイクで集音が十分できないときは、拡張マイクを接続してください。拡張マイクを接続した場合も本体の内蔵マイクは集音します。

### ■ 拡張マイクの接続

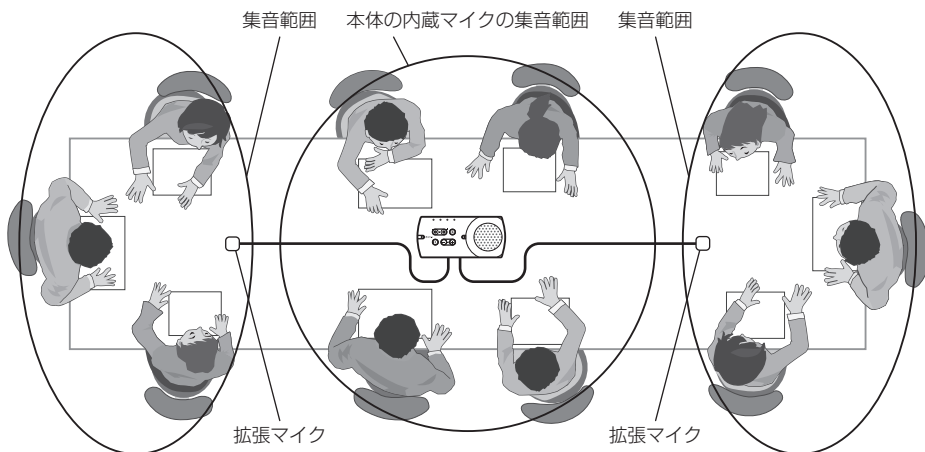
拡張マイクは、本商品のEXTERNAL MIC端子に接続してください。

- 2個まで接続できます。拡張マイクが必要なときは、お買い求めになった販売店でオプション品をお買い求めください。
- 拡張マイクのケーブルを拡張マイクの周りに巻きつけて保管することができます。



### ■ 拡張マイクの集音範囲

拡張マイクの集音範囲は、前方約2 m、約180°です。



### ワンポイント

- 拡張マイクを使用するときは  
拡張マイクのケーブルは、すべてほどいて使用してください。拡張マイクは、NTT-TXの表示がある面を表にしてください。

STOP

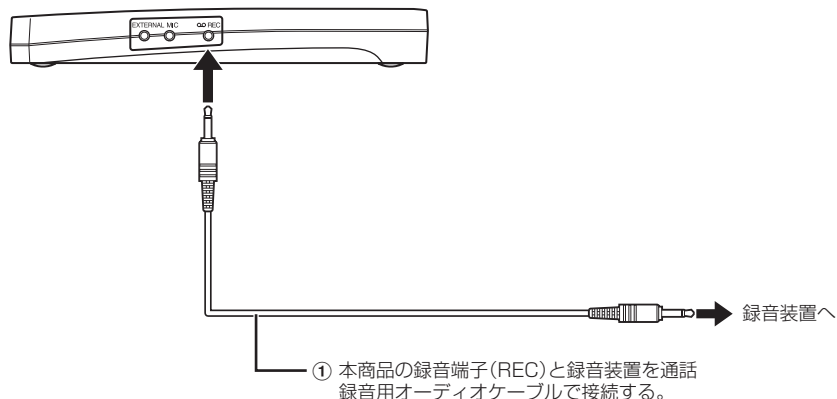
### お願い

- 拡張マイクのケーブルを抜き差しするときは、本商品の電源を切ってから行ってください。

## 通話を録音する

本商品の録音端子(REC)に録音装置を接続することにより、通話を録音することができます。市販の通話録音用オーディオケーブルをご用意ください。

### ■ 録音装置を接続する



② 通話を録音するときは、録音装置側で録音の操作を行う。

### お知らせ

● 通話録音用オーディオケーブルは、市販のモノラルオーディオケーブル(3.5 mmプラグ⇄録音装置の端子と適合するプラグ)をご用意ください。3.5mmプラグのステレオオーディオケーブルも使用可能ですが、音声出力はモノラルです。ステレオケーブルを使用した場合は、Lチャンネルにだけ録音されます。(GND/Rch(OPEN) /Lch(音声出力))

## ブリッジ接続機能 (R-Talk 950のみ)

パソコン接続、スマートフォン、タブレットや携帯電話接続、電話機接続の同時利用をすることができます。

ブリッジ接続機能により、複数の通信端末を利用することで、複数拠点間での遠隔会議ができます。

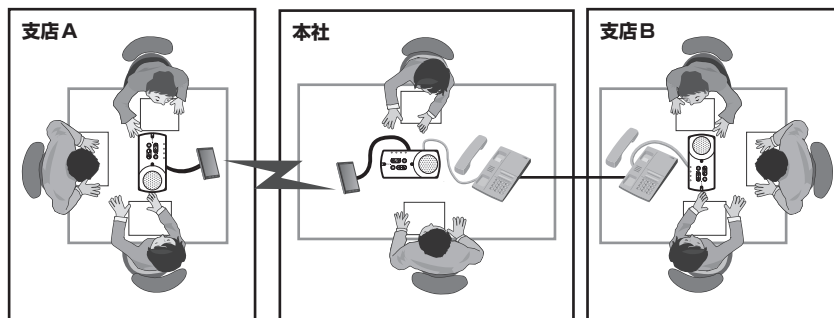
R-Talk 950は通信端末を接続するための次の端子を備えており、同時利用が可能となっています。

- ・ USBポート(PC用(windows or Mac) × 1個(●P15)
- ・ 携帯電話ケーブル差込口(携帯電話/スマートフォン/タブレット等を接続) × 1個(●P24)
- ・ Bluetooth(携帯電話/スマートフォン/タブレット等を接続) × 1個(●P25)
- ・ ハンドセットコード差込口(電話機を接続) × 1個(●P27)

ブリッジ接続の1例として3地点電話会議イメージを以下に示します。

### ●3地点電話会議

スマートフォンや携帯電話、電話機を利用して、3地点電話会議ができます。



通信機器との接続については以下をご参照ください。

「パソコンとUSB 接続して使用する」(●P15)

「携帯電話(スマートフォン等含む)とケーブルで接続して使用する」(●P24)

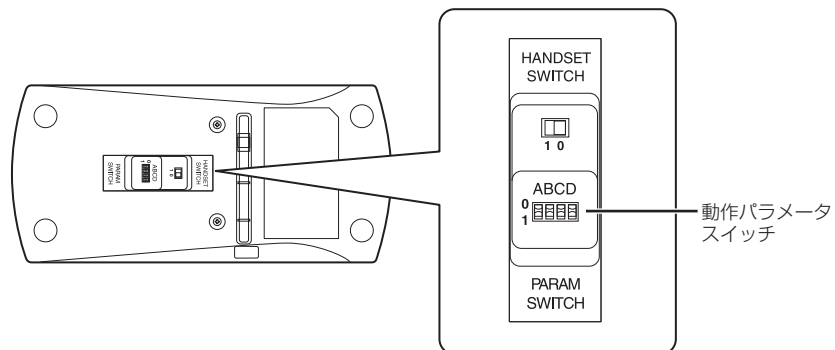
「スマートフォン/タブレット等のBluetooth 機器と接続して使用する(R-Talk 950のみ)」(●P25)

「電話機と接続して使用する (R-Talk 950のみ)」(●P27)

## 本体設定を調整する

### ■動作パラメータを調整する

動作パラメータスイッチ(A、B、C、D)で、エコーキャンセル機能・ノイズキャンセル機能の設定を切り替えることができます。動作パラメータの反映には、電源のリセットが必要です。動作パラメータスイッチの切替後、電源を入れ直してご使用ください。





## ■動作パラメータを調整する

動作パラメータスイッチ(A,B,C,D)で、エコーキャンセラ機能・ノイズキャンセラ機能・マイクボリューム制御の設定を切り替えることができます。動作パラメータの反映には、電源のリセットが必要です。動作パラメータスイッチの切替後、電源を入れ直してご使用ください。

番号	PARAM SWITCH	機能
A	エコーキャンセラ制御スイッチ	エコーキャンセラのON/OFF切替
B	ノイズキャンセラ制御スイッチ	ノイズキャンセラのON/OFF切替
C	キャンセラ強度切替スイッチ	キャンセラ強度切替
D	(未使用)	—

### A：エコーキャンセラ制御スイッチ

エコーキャンセラ機能のON/OFFを切り替えることができます。

「0」：エコーキャンセラ機能 ON

「1」：エコーキャンセラ機能 OFF

お買い求め時は「0」に設定されています。

接続した通信機器( Web会議システムなど)のエコーキャンセラを利用するときは「1」に設定します。

### B：ノイズキャンセラ制御スイッチ

ノイズキャンセラ機能のON/OFFを切り替えることができます。

「0」：ノイズキャンセラ機能 ON

「1」：ノイズキャンセラ機能 OFF

お買い求め時は「0」に設定されています。

接続した通信機器( Web会議システムなど)のノイズキャンセラを利用するときは「1」に設定します。

### C：キャンセラ強度切替スイッチ

エコーキャンセラ/ノイズキャンセラの強度を切り替えることができます。

「0」：エコーキャンセラ/ノイズキャンセラ 標準

「1」：エコーキャンセラ/ノイズキャンセラ 強め

お買い求め時は「0」に設定されています。

「0」でご使用時にエコー/ノイズが気になる場合は「1」に設定してご使用ください。但し、音質が劣化することがあります。

「A」「B」が共にONに設定されている場合は、エコーキャンセラ/ノイズキャンセラの強度が切り替わります。

「A」「B」どちらか一方のみONに設定されている場合は、ONのキャンセラの強度が切り替わります。

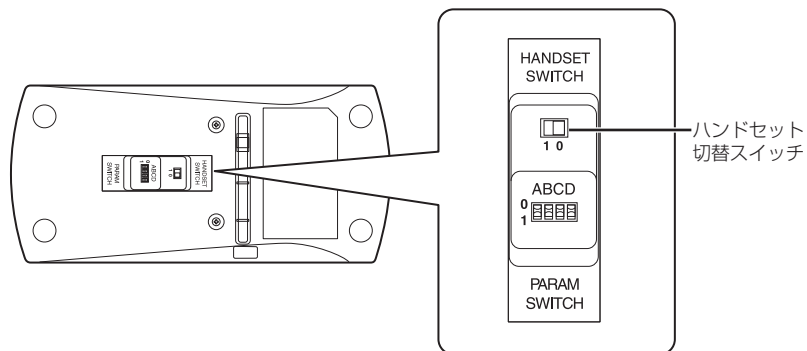
### D：「0」でご使用ください。

お買い求め時は「0」に設定されています。

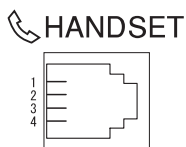
## ■ハンドセットのピン配置を切り替える(R-Talk 950のみ)

本商品の底面にあるハンドセット切替スイッチ(HANDSET SWITCH) 0/1で、ハンドセットコード差込口(HANDSET)のピン配置を設定します。ハンドセットコード差込口(HANDSET)のピン配置の切替には、電源のリセットは不要です。

ハンドセット切替スイッチ(HANDSET SWITCH)の切替後、そのままご使用ください。お買い求め時は「0」に設定されています。



## ●ハンドセットコード差込口(HANDSET)のピン配置

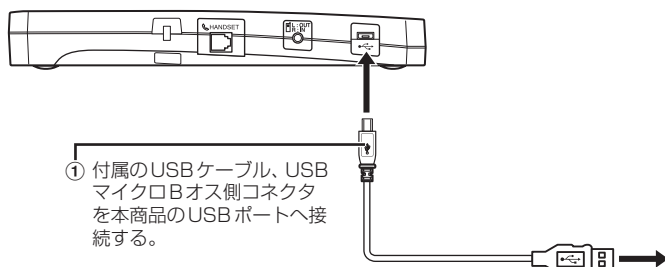


T : 送信(本商品→電話機) R : 受信(電話機→本商品)

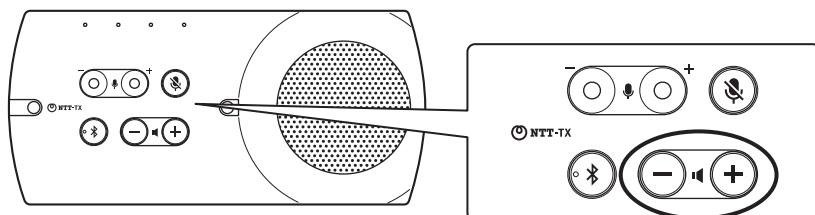
HANDSET SWITCH	ピン番号				
	1	2	3	4	
0	T	R	R	T	お買い求め時
1	R	T	T	R	

## お買い求め時の設定に戻す(初期化)

ボタン操作によりスピーカー音量とマイク音量の保存された設定をお買い求め時の設定に戻します。

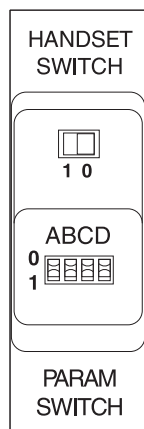


- ② スピーカー音量調整ボタン(スピーカーボリュームUPボタン+)と(スピーカーボリュームDOWNボタン-)を押す。



### ●お買い求め時のスイッチの位置

- ・ HANDSET SWITCH : 「0」
- ・ PARAM SWITCH : 「A:0 B:0 C:0 D:0」



## R-Talk 950の仕様

項 目	仕 様
USBポート	USB2.0フルスピード／AC97準拠
Bluetooth送受信	HFP(1.7)/HSP対応、到達距離 約5 m
Bluetooth仕様	Bluetooth4.1 Class2
携帯電話ケーブル差込口入力	φ3.5 mmステレオミニジャック(入力、出力兼用)
携帯電話ケーブル差込口出力	φ3.5 mmステレオミニジャック(入力、出力兼用)
拡張マイク入力	φ3.5 mmミニジャック×2
録音出力(REC)	φ3.5 mmミニジャック
ハンドセットコード差込口	4ピンモジュラジャック(RJ-10)
マイク	本体に内蔵(無指向性マイク×2)
スピーカー	本体に内蔵
周波数帯域	100 Hz～14 kHz
エコー消去時間	128 ms
安全基準	VCCI クラスB PSE対応 RoHS 指令準拠
使用電源	USB給電(5V／500mA)
消費電力	最大2.5W
外形寸法	約215mm(W)×約100mm(D)×約29mm(H)
質量(本体)	約410 g
使用条件	温度：0℃～40℃ 湿度：20%～85%(結露しないこと)
対応OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Windows 8.1(32/64bit)</li> <li>Microsoft Windows 8.1 Pro(32/64bit)</li> <li>Microsoft Windows 8.1 Enterprise(32/64bit)</li> <li>• Microsoft Windows 10 Home(32/64bit)</li> <li>Microsoft Windows 10 Pro(32/64bit)</li> <li>Microsoft Windows 10 Education(32/64bit)</li> <li>Microsoft Windows 10 Pro Education(32/64bit)</li> <li>Microsoft Windows 10 Enterprise (32/64bit)</li> <li>Microsoft Windows 10 Enterprise LTSC(32/64bit)</li> <li>Microsoft Windows 10 Enterprise LTSC(32/64bit)</li> <li>• Microsoft Windows 11 Home</li> <li>Microsoft Windows 11 Pro</li> <li>Microsoft Windows 11 Education</li> <li>Microsoft Windows 11 Pro Education</li> <li>Microsoft Windows 11 Enterprise</li> <li>Microsoft Windows 11 Pro for Workstations</li> <li>• Mac OS X v10.8</li> <li>Mac OS X v10.9</li> <li>Mac OS X v10.10</li> <li>Mac OS X v10.11</li> <li>Mac OS X v10.12</li> </ul>

## R-Talk 900の仕様

項目	仕様
USBポート	USB2.0フルスピード／AC97準拠
携帯電話ケーブル差込口入力	φ3.5 mmステレオミニジャック(入力、出力兼用)
携帯電話ケーブル差込口出力	φ3.5 mmステレオミニジャック(入力、出力兼用)
拡張マイク入力	φ3.5 mmミニジャック×2
録音出力(REC)	φ3.5 mmミニジャック
マイク	本体に内蔵(無指向性マイク×2)
スピーカー	本体に内蔵
周波数帯域	100 Hz～ 14 kHz
エコー消去時間	128 ms
安全基準	VCCI クラスB RoHS指令準拠
使用電源	USB給電(5V／500mA)
消費電力	最大2.5W
外形寸法	約215mm(W)×約100mm(D)×約29mm(H)
質量(本体)	約390 g
使用条件	温度：0℃～40℃ 湿度：20%～85%(結露しないこと)
対応OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Windows 8.1 (32/64bit)</li> <li>  Microsoft Windows 8.1 Pro(32/64bit)</li> <li>  Microsoft Windows 8.1 Enterprise(32/64bit)</li> <li>• Microsoft Windows 10 Home(32/64bit)</li> <li>  Microsoft Windows 10 Pro(32/64bit)</li> <li>  Microsoft Windows 10 Education(32/64bit)</li> <li>  Microsoft Windows 10 Pro Education(32/64bit)</li> <li>  Microsoft Windows 10 Enterprise (32/64bit)</li> <li>  Microsoft Windows 10 Enterprise LTSC(32/64bit)</li> <li>  Microsoft Windows 10 Enterprise LTSC(32/64bit)</li> <li>• Microsoft Windows 11 Home</li> <li>  Microsoft Windows 11 Pro</li> <li>  Microsoft Windows 11 Education</li> <li>  Microsoft Windows 11 Pro Education</li> <li>  Microsoft Windows 11 Enterprise</li> <li>  Microsoft Windows 11 Pro for Workstations</li> <li>• Mac OS X v10.8</li> <li>  Mac OS X v10.9</li> <li>  Mac OS X v10.10</li> <li>  Mac OS X v10.11</li> <li>  Mac OS X v10.12</li> </ul>

**NTTテクノクロス株式会社**

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4-4-5  
横浜アイマークプレイス

e-mail : [r-talk.info-ml@ntt-tx.co.jp](mailto:r-talk.info-ml@ntt-tx.co.jp)

URL : <https://www.ntt-tx.co.jp/products/r-talk/>

F-6458-3